

3つの柱で地域医療を支えます



4月1日から、従来の地域医療連携室が「地域医療連携室」「入退院支援室」「患者相談支援室」の3つに分かれ、それらを総括して地域医療支援部となりました。

各室において、看護師とMSW（医療ソーシャルワーカー）が中心となり、皆さんが住み慣れた地域で、安心して暮らしていただけるよう医療の充実を図ります。

地域医療支援部

入退院支援室

ととのえる
そなえる



入院予定の患者さんに外来受診時から関わり、入院に対する不安などをお伺いし、入院生活や退院後の生活を安心して送っていただけるよう支援します。

地域医療連携室

つなぐ
あわせる



診療所・病院・訪問看護・ケアマネージャーなど、多職種と連携していく要となることです。入院前から退院まで、切れ目のない医療を支援します。

患者相談支援室

ささえる
そなえる

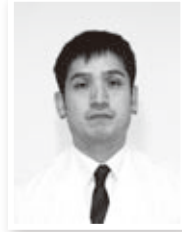


病気やケガなどから生じる不安や健康上の問題、がんと診断された方へのトータルサポートを、専門のスタッフが行います。

平成30年度 新任医師の紹介

【小児科医師】

たかおり とおる
高折 徹



専門分野：小児科全般
経歴：京都大学医学部医学科を卒業後、公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院小児科、国立精神・神経医療研究センター小児神経科にて医師（研修医）を経て、当院の小児科医師に就任。

高島市の子どもたちの笑顔が増えるように精一杯がんばっていきたくと考えています。どんなことでも不安に感じられれば、気軽に受診してください。
どうぞよろしくお願いいたします。

清水健氏によるチャリティー講演会

「大切な人の想いととともに...」を開催します!

とき 9月8日(土) 10時30分～12時 (10時開場)

ところ 高島市民会館

内容 元読売テレビアナウンサーであり、妻との闘病生活を綴った「112日間のママ」の著者である清水健氏の講演会を開催します。読売テレビを退社後、一般財団法人清水健基金を立ち上げ、入院施設の充実などに取り組む団体などへの支援をされています。今回の講演会を通して「がん」について、考えてみませんか?

- 参加費（入場料）
高校生以上：500円 中学生以下：無料
- 募集期間
7月～8月末（定員になり次第締め切り）
- 申込方法
・メール kyoujitsu@city.takashima.lg.jp
・FAX
(必要事項は、お問い合わせください)



←こちらの二次元コードからお申し込みできます。

国保年金あらかると

問保険年金課

☎ (25) 8137

大津年金事務所

☎ 077 (521) 1789

年金請求手続きなどの相談は予約相談をご利用ください

全国の年金事務所では年金請求手続きや年金受給者の方の予約相談を実施しています。

今回、予約の電話がつながりやすくなるよう、予約受付専用電話番号を新たに開設しました。ぜひ、ご利用ください。

【予約相談の受付時間帯】

- ◆月曜日：8時30分～18時
※月曜日が祝日の場合は、翌営業日に18時までお受けします。
- ◆火～金曜日：8時30分～16時
(祝日、年末年始は除きます。)
- ◆第2土曜日：9時30分～15時

予約受付専用電話番号
(予約のお申し込み電話番号)

☎ 0570 (05) 4890
【ナビダイヤル】



- ◎予約の受付時間は、8時30分～17時15分です。
(土曜日、日曜日、祝日、および年末年始は除きます。)
- ◎当日の予約はできませんのでご了承ください。
- ◎お申し込みの際には、年金手帳や年金証書の基礎年金番号をお伝えください。

問 地域包括支援課

☎ (25) 8150

(地域包括支援センター)

FAX (25) 5490

あんしん 元気生活



認知症の人は不安で困っているとわかった。助けてあげたい。



認知症の人の立場になって考えることが大切。地域での見守りが大切だと思った。

平成30年3月末現在、市の認知症サポーターは10,516人となり目標を達成することができました。
今後は、3年後までに認知症サポーター12,000人(第7期介護保険事業計画)の養成を目指すとともに、引き続き「認知症になっても安心して暮らせるまち」に取り組んでいきます。
今後も養成講座や出前講座を開催しますので、ご希望がありましたら、ご連絡をお願いします。

認知症サポーターとは、認知症を理解し、認知症の方やその家族を温かく見守るなど、自分のできる範囲で手助けを行う応援者です。
市では、平成29年度末までに認知症サポーター1万人養成を目標に、地域、学校、企業などで認知症サポーター養成講座に取り組んできました。

認知症 みんなの笑顔で 支えよう！
認知症サポーター1万人を達成！